



新年、あけましておめでとうございます  
の広大な庭に入らせていただき、季節を感じてきました。ツバキ、カンザクラなどの花々を見たり、きれいに手入れされた芝生で寝転んだり、楽しいひと時でした。

## 冬休みの放課後教室 (一日平均 9.7人)

17日間の冬休みでしたが、放課後教室では実質6日の開室となりました。その中で、「折り染め」「超大型紙芝居」「散策」を行いました。

「折り染め」は、障子紙を40cmほどに切ったものを8等分に折り、さらに三角形に折ったものに色を染めて広げるという作品作りです。

一方「超大型紙芝居」は、山北拍子木の会のみなさんに上演していただきました。いつ見ても、この大きさの紙芝居を作る労力は大変だっただろうと思います。

「散策」では、ブルックス（ピオトピア）



## 子供たち

ペーシェンス・ストロング

子供のつぐらな眼に涙を湧かす前に、考えてみなさい。

晴れ渡った空を曇らせるようなことばを口にする前に、ちょっと立ち止まって考えてみなさい。

子供たちはこの悩みのおおい人の世に、

自分から好んで生まれてきたものではありません。

—— だから、悲しみや悩みや争いから、できるだけ彼らを守ってやりなさい。

子供たちにはもてなしや金目のおもちゃよりも、愛情が必要です。

—— 愛と理解が、幸福な家庭とまじり気のないよろこびが…。

にっこり笑いかける顔、

思いやりのある声、平和とハーモニーが

幼い人びとに、生きていくよろこびと自信をあたえます。

お金では買えないものをよくわかって大事にすることを教えなさい

ひろびろとした世界、大地や海や空の美しさを。

未来というものを心に浮かべてみると、



## うれしかったこと

外遊びの時、1、2年生の子どもたちに剪定した枝や葉の片付けの手伝いをお願いすると、快く引き受けてくれて、あっという間に片付いてしまいました。このとき、一輪車で運ぶ子、葉っぱを集める子、そし

て運んできたものを下す手伝いをしていた子と、分担ができていき、何度も一輪車を押して運んでくれました。「すごいなあ」「えらいなあ」という言葉が、何度も出てきました。とっても助かったことと、いやな顔をせず楽しむ子どものすごさを感じました。どうもありがとう。

## 放課後教室からのお願い

だいぶ寒い日が続く頃になってきました。インフルエンザに罹患する子どもも見られるようになりました。そこで、次のことをお読みいただき、ご協力をお願いします。

- ① 子どもの体調が少しでも悪い時は、放課後教室のご利用はご遠慮ください。  
(対応が困難であること、生活空間が狭いこと)
- ② 放課後教室で具合が悪くなったときは、連絡させていただきますので、お迎えをお願いします。
- ③ うがい・手洗いの励行をお願いします。